


🏠 住宅火災の主な出火原因をご存知ですか？

住宅火災の主な出火原因の上位に、台所の「こんろ」、居室や寝室などでの「たばこ」、「ストーブ」、家の周りなどでの「放火」があげられます。（東京消防庁管内での近年5年の平均）

火災から身を守るためには、火を出さないための日頃の備えと心がけ、そして、いざ火災が起きた時の早期発見や初期消火が大切です。火災に対する日頃の備えを「住宅防火10の心得」により今一度確認し、家族みんなで火災予防に努めましょう。



🏠 住宅防火10の心得

<p>1 調理中は、こんろから離れないようにしましょう。</p> <p>住宅火災の出火原因で1番多いのは、こんろによる火災です。</p> 	<p>6 コンセントの掃除を心掛けましょう。</p> <p>湿気の多い場所にあるコンセントに、ほこりがたまっていると、火災発生の要因になる場合があります。</p> 
<p>2 寝たばこは、絶対にやめましょう。</p> <p>たばこの不始末による火災で死者が多く発生しています。</p> 	<p>7 住宅用火災警報器を設置し、定期的に点検しましょう。</p> <p>住宅用火災警報器は、すべての居室・台所・階段に設置しなければなりません。</p> 
<p>3 ストーブの周りに、物を置かないようにしましょう。</p> <p>ストーブに可燃物が接触し、火災が多く発生しています。</p> 	<p>8 寝具類やエプロン・カーテンなどは、防災品にしましょう。</p> <p>防災品は、火が接しても着火しにくく、燃え広がるのを防ぎます。</p> 
<p>4 家の周りを整理整頓しましょう。</p> <p>放火予防のため家の周りに燃えやすい物は放置しないようにしましょう。</p> 	<p>9 消火器を備え、使い方を覚えましょう。</p> <p>消火器などでの初期消火で火災による被害が大幅に軽減されます。</p> 
<p>5 ライターやマッチを子供の手の届く場所に置かないようにしましょう。</p> <p>火遊びによる火災は毎年100件を超え、子供の死者が発生しています。</p> 	<p>10 ご近所一緒に火の用心しましょう。</p> <p>火災を発見したら、大声で周囲に知らせ119番通報しましょう。</p> 